

# 学校・児童福祉施設

## クラスターが急増

厚生労働省が26日に公表した17日以降1週間のクラスター発生件数の集計結果によると、学校・教育施設や児童福祉施設など子ども

比317件増加の2315件、児童福祉施設では15件、児童福祉施設では15件増加の1246件とな

る。関連の施設でクラスターが急増しています。

◆解説②面

学校・教育施設では前週3件増、合計3561件となりました。

他方、最もクラスターの多いのが医療機関と福祉施設で、医療機関が前週比55件増の1104件、福祉施設は2888件増の38886件で、合計5439件です。

福祉施設のうち高齢者福祉施設が112件増の2249件です。

企業等でも前週比114件増の3142件とクラスターの多発が続いています。

**解説** 子ども関連の施設でのクラスター急増に重大な注意が必要です。

更に第5波をもたらしたデルタ株以上に子どもへの感染が危惧され、これまでオミクロン株。感染力はデルタ株の2~4倍とされ、免疫力も強まっていきます。子どもの重症化は少ないことされていますが、子どもはワクチン未接種で、基礎疾患のある子どもは重症化する危険があります。これらの子どもへ

## 学校などクラスター急増

# 子どもを守る対策急げ

のワクチン接種を優先し、急ぐ必要がありま

す。  
学校での検査も義務です。もともと子ども

にウイルスを感染させるのはおどなですが、

子どもが感染して学校・教育施設等での感染

が拡大すると、それらの施設でウイルズが増幅し、インフルエンザ

のように社会の中心的な感染源となる可能性もあります。専門家

は、学校を閉じないようこしながら、学校での感染拡大を防止する

には、感染が出てから

ではなく、学校で定期

的な検査を子ども、ス

タッフ、親などに強め

る」とが重要と指摘

ています。マスク、O

O<sub>2</sub>モニター設置、換

気、手洗い等の基本対

策の徹底も重要です。

また、ブースター接

種が遅れている中で、

高齢者施設への検査を

徹底し重症化の危険の

高い人を保護していく。医療崩壊を防ぐためにも最大限の対策を

急ぐ必要があります。

(中経二)